

## 参考:九州・沖縄エリアにおける傾向

本アンケート調査を、九州・沖縄エリア在住学生(n=346)に絞り、全国データと比較をしたところ以下のような傾向が見られました。

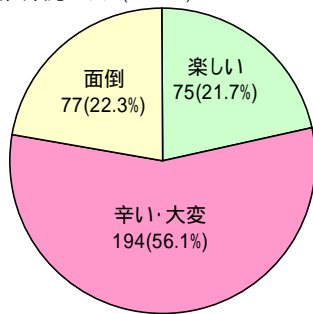
### 【就職活動における心理】

九州・沖縄エリア学生の56%が現在の就職活動を「辛い・大変」と感じており、全国(52%)の割合をやや上回っている。同時に、先輩の就職活動を見て「厳しい就職環境が続くけれど、自分はなんとかなる」と思っている学生は17%にとどまり、「厳しい就職環境が続くから、自分もがんばらなければならない」と感じている学生(69%)が多数を占めている。就職活動が「楽しい」と感じている学生では「辛い・大変」とした学生よりも「なんとかなる」とする学生の割合が5.4ポイント高い。また、九州・沖縄エリアの「がんばらなければならない」とする学生の割合は全国(67%)よりもわずかに高くなっている。

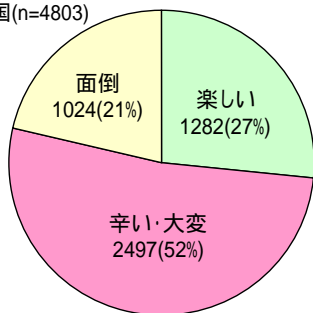
### 現在の就職活動に対する心境

(単一回答)

九州・沖縄エリア(n=346)

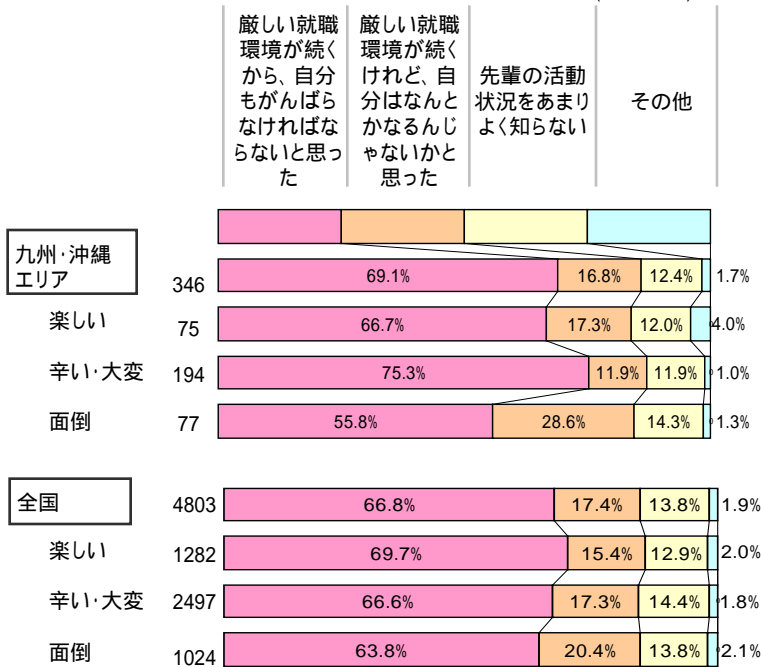


全国(n=4803)



### 一つ上の先輩の活動に対する印象(心境別)

(単一回答)



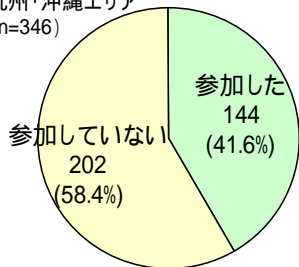
### 【就職活動の状況】

インターンシップへの参加は全国をわずかに上回る42%となっている。一方、OB・OG訪問を行った学生は全国を3.3ポイント下回る21%で、さらに訪問したOB・OGの人数も「1人」だけという学生が訪問実施者の半数を占め、全国のその割合を大きく上回っている。

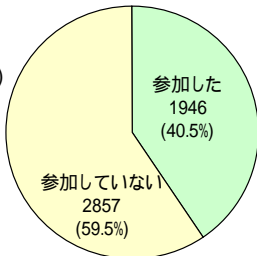
### インターンシップ参加の有無

(単一回答)

九州・沖縄エリア(n=346)



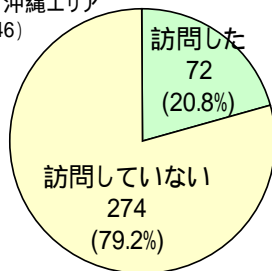
全国(n=4803)



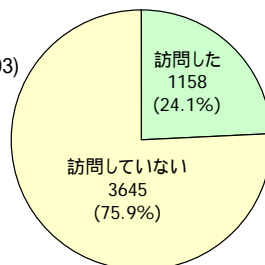
### OB・OG訪問の有無

(単一回答)

九州・沖縄エリア(n=346)



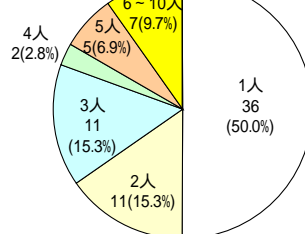
全国(n=4803)



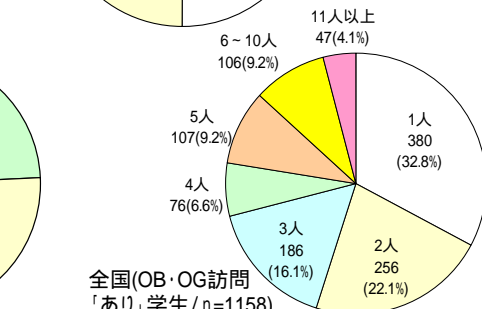
### OB・OG訪問した人数

(単一回答)

九州・沖縄エリア(OB・OG訪問「あり」学生/n=72)



九州・沖縄エリア(OB・OG訪問「あり」学生/n=72)



インターンシップの参加社数について問い、0社を「参加していない」、1社以上を「参加した」とした。

OB・OGの訪問人数について問い、0人を「訪問していない」、1人以上を「訪問した」とした。